

## 秋田市

## エイジフレンドリーシティ

(高齢者にやさしい都市)

Age-Friendly City Akita

## 行動計画



## エイジフレンドリーシティの実現をめざして



人口減少・少子高齢化が急速に進行する中、本市では、新たな視点での高齢化への対応として、2009年、WHOが提唱する「エイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）」の趣旨に賛同し、その実現に向けた取組に着手しました。

2011年12月、日本国内の自治体として初めて、WHOが設立したエイジフレンドリーシティ・グローバルネットワーク\*1に参加しました。





このたび策定した「第3次秋田市エイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）行動計画」では、価値観が多様化し変容する社会情勢を乗り越えるため、行政、市民、民間事業者の三者協働のもと、より高い次元のエイジフレンドリーシティの実現を目指します。

## 基本理念

いくつになっても住み慣れた地域で役割や居場所を持ち、互いを認め合いながら豊かに暮らすことができる社会は、高齢化が進む社会の中であって、全ての世代の希望となり、高齢県秋田の県都の使命であると考えます。

エイジフレンドリーシティの実現には、行政、市民、民間事業者が共に考え取り組むことが欠かせないものであり、この協働を軸に、本計画では、本市の目指すべき姿として、以下のとおり基本理念を設定します。

エイジフレンドリーシティ  
 ともに考え ともにつくる 高齢者にやさしい都市  
 ～誰もが心豊かにいきいきと暮らせる社会をめざして～

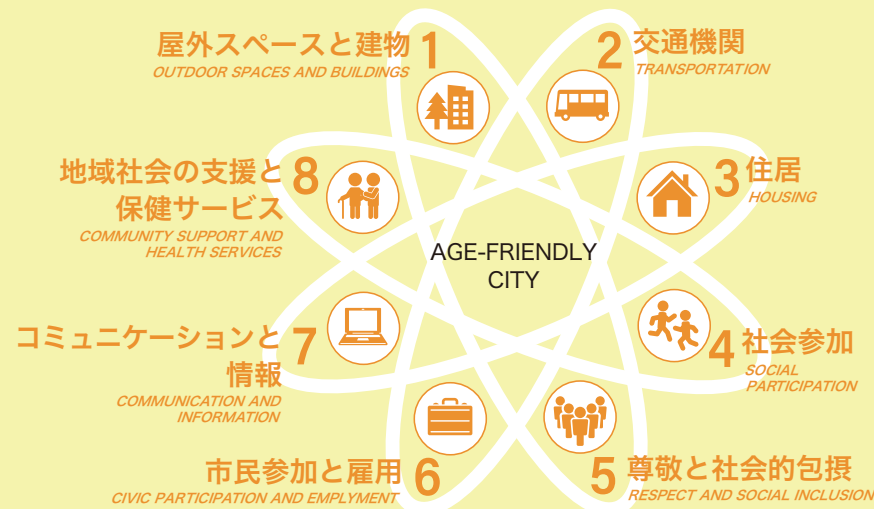
この理念のもと、私たちは、エイジフレンドリーシティの取組を進め、誰もが秋田市に住んでいてよかったと思えるようなまちを目指します。

## 計画期間

令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間とします。

## WHO 高齢者にやさしい 8つのトピック

本市は、WHOが定義した「高齢者にやさしい8つのトピック」をもとに、基本理念を実現するためのまちづくりの方向性を示すものとして、今後も8つの基本目標を設定し、さまざまな取組を行っていきます。



## 8つの基本目標と取組

本市では、基本目標ごとのさまざまな取組によりエイジフレンドリーシティの実現を目指し、連携しながら、より実効性のある取組を推進します。

### 第3次 秋田市エイジフレンドリーシティ 行動計画取組事業

#### 基本目標 1 安全・安心で誰もが快適に過ごせる屋外・施設環境の整備



- ①誰もが使いやすい施設の整備とサービス提供
- ②快適な生活環境の形成
- ③安心安全な地域社会づくり
- ④道路環境の整備
- ⑤除排雪対策

#### 基本目標 2 交通機関の利便性の向上



- ①公共交通の利用促進
- ②高齢者の日常移動手段の確保

#### 基本目標 3 安心して快適に住み続けられる住環境の整備



- ①高齢者の住環境の利便性の向上
- ②高齢者の孤立防止

#### 基本目標 4 生涯を通じた生きがいづくりや社会参加の促進



- ①多様な価値観に対応した社会参加の場づくり
- ②地域における活動の支援

#### 基本目標 5 あらゆる世代がお互いを認め合う地域社会づくり



- ①高齢者、高齢社会の捉え方の意識改革
- ②高齢者を理解し、支える体制づくり

#### 基本目標 6 高齢者の就業や市民参加の機会創出



- ①高齢者の就業等の環境整備
- ②ボランティア活動等の機会の整備

#### 基本目標 7 高齢者の情報環境の整備



- ①高齢者が情報を入手しやすい環境づくり
- ②高齢者のデジタル活用の支援

#### 基本目標 8 多様な生活支援サービスを利用できる地域づくり



- ①相談窓口の整備
- ②保健、福祉、医療サービスの充実
- ③地域福祉活動の充実



## 重点方針

社会情勢を捉えた課題に対応するための方針として「目指すまちのすがた」を設定します。



### すがた 1

#### あらゆる年代に

エイジフレンドリーシティ意識が

醸成されたまち

人生100年時代を迎え、市民が年を重ねることを肯定的に捉えることができる都市を目指し、エイジフレンドリーシティの日を設けるなど、意識の醸成に取り組むほか、高齢者等がデジタル分野を含む、多様なコミュニケーションを享受できるよう、きっかけづくりの場の提供を促進します。



### すがた 2

#### 多様な住民主体の

活発なコミュニティ活動が

見えるまち

高齢者が孤立しないよう地域におけるコミュニティ活動の推進を図るほか、活動の見える化を進め、さらなる情報提供の促進に取り組むほか、住民主体の互助活動や生活支援活動などが進むよう、超高齢社会にふさわしい地域コミュニティをともに考えていきます。



### すがた 3

#### エイジフレンドリーを

身近に感じられるまち

さまざまな分野のエイジフレンドリーパートナーを拡充し、事業者の強みを生かした高齢者にやさしい取組を促進し、住んでいて良かったと思う暮らしやすい環境の整備を、パートナー事業者とともに目指します。



### すがた 4

#### 高齢者がいきいきと活躍できるよう

産学官民一体で取り組んでいるまち

多岐にわたる地域の課題解決に向けて、民間事業者、市民、NPO、大学、行政の協働により、継続して新たな取り組みを創り出すことができるよう、産学官民一体の共創体制の推進を図り、高齢者それぞれの個性や生活スタイルに寄り添った活動を推進します。



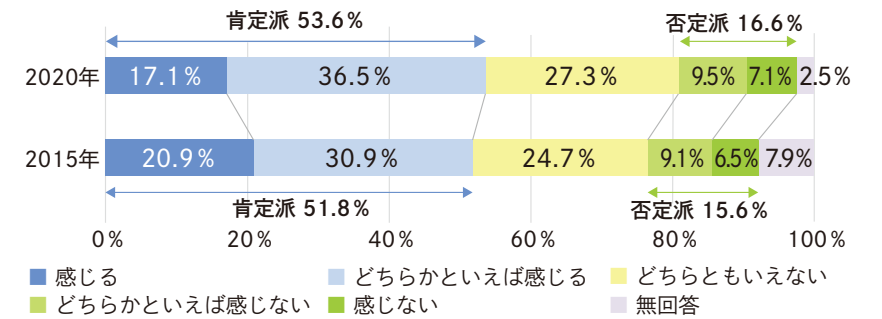
## 秋田市高齢化の将来推計

現在の推計では、2045年には、人口が約22万6千人になるとされています。全人口の65歳以上の高齢者が占める割合、いわゆる高齢化率については、上昇の一途をたどっており、2015年の28.6%から30年後の2045年には、46.8%と大幅に上昇し、全人口の半数に近くなる見込みであり、生産年齢人口割合（15～64歳）を上回ると推計され、65歳以上の高齢者1人を、生産年齢人口1人では支えられない状況となります。

### 基幹指標 1 自分らしく暮らすことができていると感じている高齢者の割合

#### Q. 生きがいをもっていきいきと自分らしく暮らしていると感じますか？

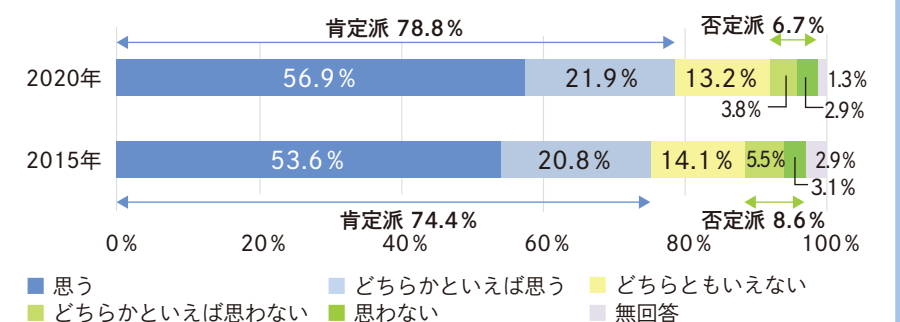
回答した65歳以上の高齢者のうち、自分らしく暮らしていると感じるとどちらかといえば感じるを合わせた肯定派は53.6%、感じないとどちらかといえば感じないを合わせた否定派は16.6%となり、肯定派が否定派を大きく上回りました。



### 基幹指標 2 あらゆる世代にとって住みよいまちであると感じている人の割合

#### Q. 秋田市に今後も住み続けたいと思いますか？

回答者全体のうち、住みよいまちであると思うとどちらかといえば思うを合わせた肯定派は78.8%、思わないとどちらかといえば思わないを合わせた否定派は6.7%となり、肯定派は否定派の10倍以上の割合となりました。





## 秋田市におけるこれまでの主な取組

2009(平成21)年度	・エイジフレンドリーシティ構想の推進に着手
2010(平成22)年度	・第12次秋田市総合計画で成長戦略の一つに位置づけ
2011(平成23)年度	・高齢者コインバス事業を開始 ・WHOエイジフレンドリーシティ・グローバルネットワーク*1に参加
2012(平成24)年度	・介護支援ボランティア制度、傾聴ボランティア養成事業を開始 ・第11回 I F A 高齢化国際会議(チェコ共和国)で市長が事例発表
2013(平成25)年度	・第1次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画を策定
2014(平成26)年度	・エイジフレンドリーシティカレッジリレーセミナーを開始 ・エイジフレンドリーシティ通信の発行を開始
2015(平成27)年度	・エイジフレンドリーシティシンボルマークを設定 ・エイジフレンドリーパートナー*2づくり推進事業を開始 ・高齢者コミュニティ活動創出・支援事業を開始(～平成29年度)
2016(平成28)年度	・第2次秋田市エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)行動計画を策定 ・[年の差フレンズ部*3]発足
2017(平成29)年度	・高齢者コインバスで出かけるシニア映画祭を開始
2018(平成30)年度	・第14回 I F A 国際会議(カナダ・トロント)で事例発表 ・エイジフレンドリーシティ推進戦略づくりワークショップを開始
2019(令和元)年度	・エイジフレンドリーパートナーの取組紹介等のテレビ番組制作
2020(令和2)年度	・官民協働でシニア情報ポータルサイトの構築

\*1 WHOエイジフレンドリーシティ・グローバルネットワーク:エイジフレンドリーシティをさらに広め、各都市との連携を図ることを目的に世界保健機関(WHO)が2010年に設立したネットワーク。

\*2 エイジフレンドリーパートナー:本市のエイジフレンドリーシティの取組に賛同し、高齢のかたや障害のあるかたにやさしい取組を本市とともに行う民間事業者・団体。

\*3 年の差フレンズ部:現在は「あきた年の差フレンズ部」。年の差がある人と友達関係をつくり、年齢差があるからこそできる交流や気づきにより、秋田で長く楽しく暮らすことを目的に結成。2018年グッドデザイン賞受賞。

[2022年6月発行]

### 秋田市長寿福祉課 エイジフレンドリーシティ推進担当

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号 本庁舎2階

TEL:018-888-5666 FAX:018-888-5667 メール:ro-wflg@city.akita.lg.jp

ダウンロードの  
ページへ



第3次秋田市エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)行動計画は、  
長寿福祉課のホームページからダウンロードできます。